

平成26年度第2回富山県がん対策推進協議会 議事概要

1. 日時 平成26年10月29日(水) 19:45~20:30
2. 場所 富山県庁4階大会議室
3. 議事 (1) がん対策の推進について
(2) 本県におけるがん診療体制について

4. 委員からの主な意見

(1) がん対策の推進について

①がん検診受診促進シンボルマークについて

●委員

本県のがん検診受診促進シンボルマークを全国から公募して決定した。選考にあたっては、①富山県らしさ、②使いやすさ、③受診しようというアクションに結びつくものを選んだ。今後、マークのキャラクターが、デジタル上にて動くアイデアはどうかと考えている。

②緩和ケア分野認定看護師教育課程について

●委員

平成26年10月1日に、北信越で初めて緩和ケア認定看護師教育課程を開講した。これまでは都会でしか受講することができなかったが、県内で容易に受講できるようになったことで、受講者の負担を抑えることができる。

受講者26名のうち、富山県出身者は17名(男性看護師2人含む)、県外出身者は9名である。参加者の所属は、がん診療連携拠点病院を含む病院や訪問看護ステーションであり、開講してから約1ヶ月経つが、皆さん熱心に受講されている。

③がんに関する相談支援について

●委員

「WCNPとやま」は、今年春に解散した「あけぼの会 富山支部」を引き継ぎ、乳がん患者だけではなく、女性のがん患者全般をサポートする患者会として立ち上げたものである。ピアサポーター養成講座を経て患者支援に関するサロン等に参加している。今年11月にはピアサポーターとして小学校の「いのちの授業」にも参加する予定。

④がん教育について

●委員

がん検診の受診率を上げるためには、子どもたちへのがん教育が重要であり、今後とも継続して取り組んでほしい。

(2) 本県におけるがん診療体制について

●部会長

資料2に基づき、富山県のがん診療体制に関する意見書(案)を説明

⇒了承が得られる